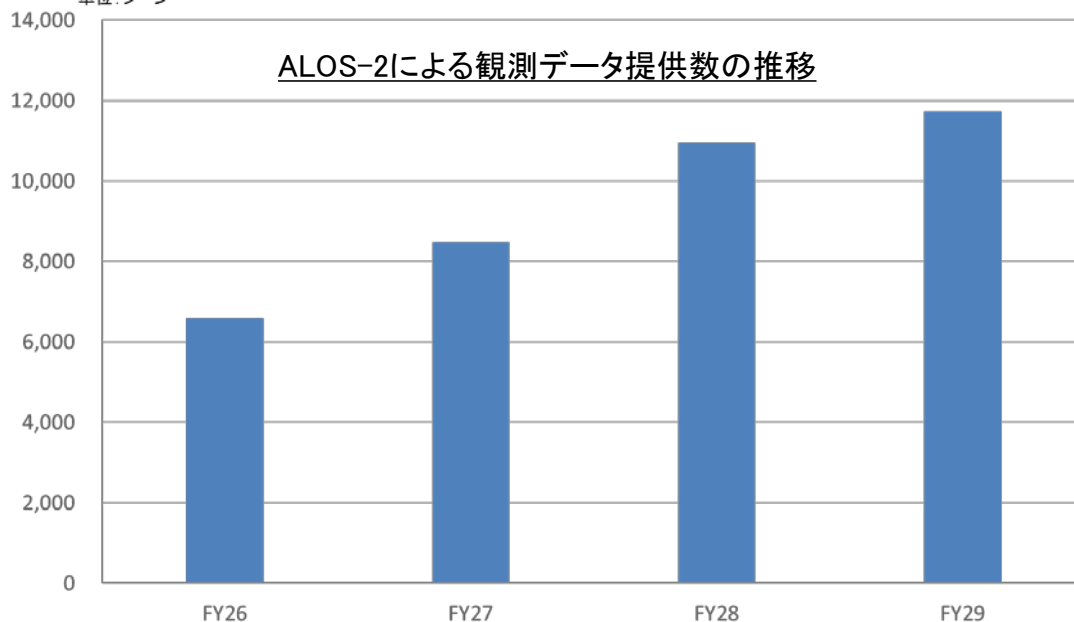


ALOS-2の利用状況

単位:シーン

ALOS-2による観測データ提供数の推移

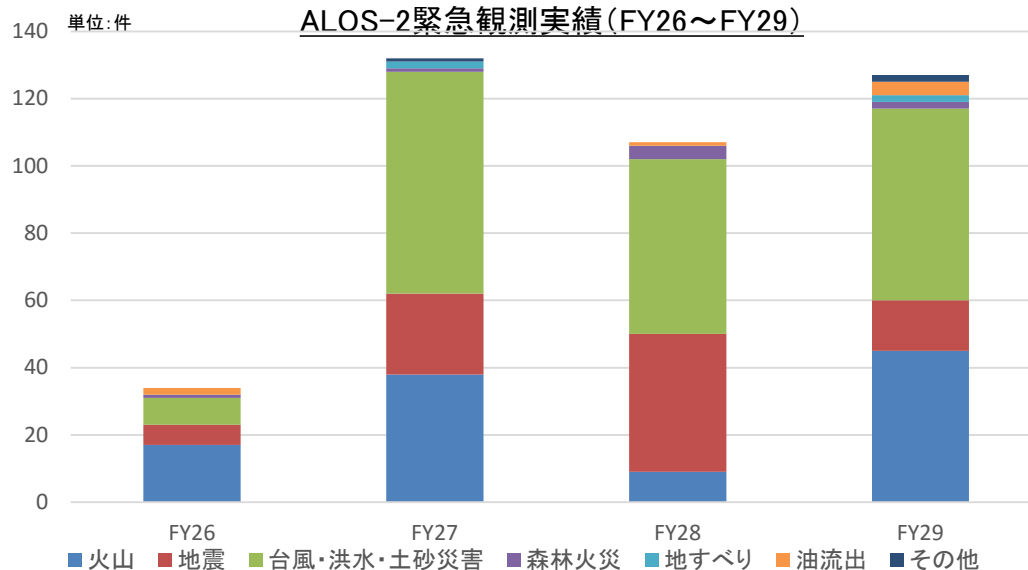


センチネルアジア・国際災害チャータ 緊急観測対応件数
(FY26~FY29)

提供先	FY26	FY27	FY28	FY29
センチネルアジア	16	23	30	30
国際災害チャータ	7	8	18	18

単位:件

ALOS-2緊急観測実績(FY26~FY29)



平成30年7月豪雨における対応(1/2)

- 平成30年6月28日以降、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が発生。
- JAXAでは、発災直後から防災関係機関の要請に応じて、ALOS-2による緊急観測を行い(表1)、土砂移動や浸水被害状況の速報処理結果及び判読結果を国交省や各自治体等に提供した(図1、図2、図3)。

表1 緊急観測の実施状況

観測日	要請元	観測場所	対応概要
7月5日	国交省、徳島県	徳島県	夜パスにて観測。速報処理結果及び判読結果を提供(土砂移動把握)。
7月6日	国交省、高知県、徳島県	高知県、徳島県	昼パスにて観測。速報処理結果及び判読結果を提供(土砂移動把握、浸水把握)。
	国交省	福岡県	夜パスにて観測。速報処理結果及び判読結果を提供(浸水把握)。
7月7日	国交省	岡山県、高知県、徳島県	夜パスにて観測。速報処理結果および判読結果を提供(土砂移動把握、浸水把握)。
7月8日	国交省	愛媛県、広島県	昼パスにて観測。速報処理結果及び判読結果を提供(土砂移動把握、浸水把握)。

岡山県倉敷市真備町川辺付近の浸水域判読結果(平成30年7月7日 ALOS-2夜パス)

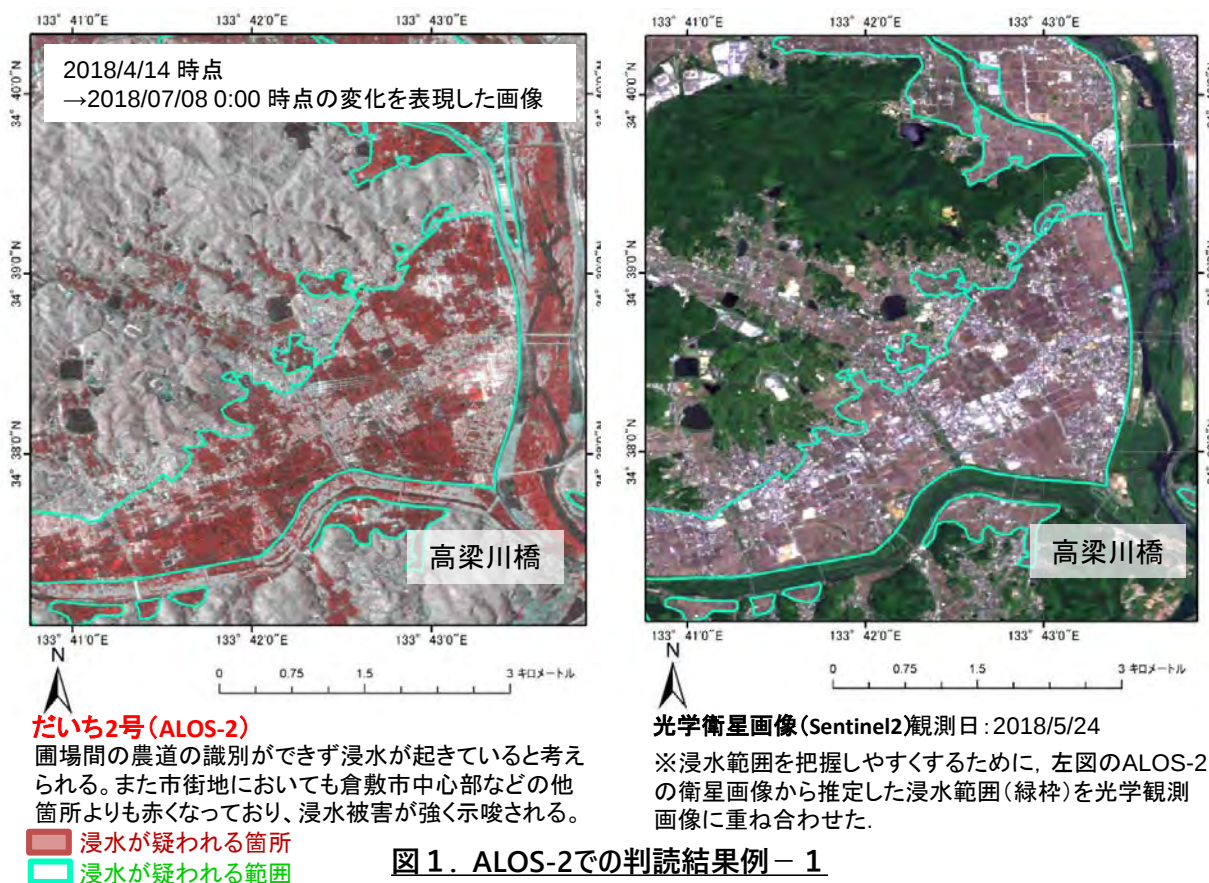


図1. ALOS-2での判読結果例 - 1